

永田町新潮流 平沢勝栄

俺がやらねば



先日、自民党は所属議員に、演説などで「失言」をすることがないように注意を促す文書を出した。

演説の一部が切り取られて報道され、その結果、「問題発言だ」として批判されるケースがみられるか

チャーチル元首相は女性議員に「私の酔いは一晩、寝れば治る。あなたの容姿は一晩、寝ても直らない」



果たしてこれは本当なのか、見てみたいと思う。外務省幹部によると、トルコのレジェップ・タイップ・エルドアン大統領は

が、英国のウィンストン・チャーチル元首相は、酔って議会に出た。このことを野党の女性議員からとがめられた元首相は「私の酔いは一晩、寝れば治る。あなた

の容姿は一晩、寝ても直らない」と聞き直ったそうだが、さすがに現代の英国ではそうした発言は許されないだろうが、日本より政治家の発言に寛容であることだけは間違いない。

ロシアではプーチン大統領側近で、プーチン大統領側近で、私はこの発言の直後、衆議院予算委員会出張でロシアを訪れた。

その際、ロシア連邦議会の幹部に、「その後、ミスリナ発言はどくなったか」と聞いた。答えは「何が問題なの言」だとして直ちに大問題も必要となるだろう。

(自民党衆議院議員)

「失言」はどくらいまで許容されるか

言が人を傷つけないよう、細心の注意が求められる。もし、日本で外国の政治家と同じような発言をしたら、「暴言」あるいは「妄言」だとして直ちに大問題も必要となるだろう。

昨年、来日したトルコの副首相も自民党本部の会合でこの話をしてきた。英国議会史で有名な話だ。

女性であるミスリナ議員が「ロシア全女性にプーチンの遺伝子を贈り、子供が生まれたら国から特別手当を与えよう」という、驚くような発言をしたという。

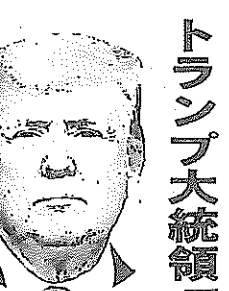
私はこの発言の直後、衆議院予算委員会出張でロシアを訪れた。

その際、ロシア連邦議会の幹部に、「その後、ミスリナ発言はどくなったか」と聞いた。

答えは「何が問題なの言」だとして直ちに大問題も必要となるだろう。

人口減がもたらす国の活力の衰退を心配してか、「私は子供を4人育てた。国民は子供を3人はつくりなさい」と繰り返して、訴えているのだ。

たの容姿は一晩、寝ても直らない」と聞き直ったそうだが、さすがに現代の英国ではそうした発言は許されないだろうが、日本より政治家の発言に寛容であることだけは間違いない。



「メキシコから来る奴は皆、犯罪者だ」と、全く問題にしていなかった。

「メキシコから来る奴は皆、犯罪者だ」と、全く問題にしていなかった。

トランプ大統領「メキシコから来る奴は皆、犯罪者だ」

「メキシコから来る奴は皆、犯罪者だ」と、全く問題にしていなかった。